

# 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 19 号	氏名	岩永 竜一郎
学位審査委員	主査 森内 浩幸 副査 森 望 副査 篠原 一之		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、従来早期診断・治療が困難であった幼児期の注意欠陥/多動性障害混合型(ADHD-C)に対して、感覚-運動・言語・認知能力の特性を明らかにすることからアプローチしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 幼児の感覚-運動・言語・認知能力の特性を捉えるのに適した日本版ミラー幼児発達スクリーニング検査(JMAP)を駆使し、数多くの発達障害児と健常児からデータを収集し、適切な統計学的解析を行ったもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、ADHD-C 群では標準群よりも基礎的感覚-運動能力が低く、早期診断に有用と考えられる下位項目を同定することができた。これによって、今後 ADHD-C の早期診断・早期治療の道が開けることが大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は ADHD-C 研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			